



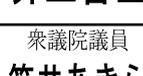
市議会議員
砂田喜昭
Tel 67-4322



衆議院議員
藤野保史



参議院議員
たけだ良介



参議院議員
井上哲士



衆議院議員
笠井あきら

9月議会

砂田市議の一般質問その2

新型コロナウイルス感染症の拡大防止策

介護施設等で働く人にPCR検査を

砂田市議 新型コロナウイルス感染症の拡大を抑制する一番のカナメが、無症状の感染者を発見し、保護、隔離することだといわれている。県内でも感染経路がわからない例が増えている。世界ではニューヨークやベトナム・ダナンの例に見られるように、検査を徹底して新型コロナウイルスの拡散を防いでいる。

人のケアを仕事にしている施設、介護施設、医療機関、学校、保育所などで働く人たちのPCR検査を定期的に実施してはどうか。

最近では、富士宮市で無症状者もPCR検査を、誰でも何度でも医師の問診を経ずにやることにした。3万円以上という検査料の2万円から2.5万円を市が補助している。

民生部長 砺波医療圏では6月22日から地域外来検査センターが設置され、必要に応じて検体採取し検査できる態勢を整えた。介護施設等を対象にしたPCR検査

を定期的に実施することについては、医療機関や検査機関に膨大な検査を強いることになり、その結果として真に必要な人の検査に支障が出る恐れがあることや、検査費用に膨大な財源が必要となることなど、費用対効果の面から困難と考えている。

市での検査数と陽性率公表を

砂田市議 有効な新型コロナウイルス感染症対策をとるうえで、感染状況を把握しておくことは欠かせない。安倍内閣が行った全国一斉休校は思い通りの無策にか過ぎず、子どもたちに多大な負担と犠牲を押しつけたただだ。こうしたことを繰り返さないためにも各地域での感染状況を具体的に把握し、対策を具体化することが欠かせない。PCR検査等の実施数と、その結果判明した陽性数の割合、陽性率を公表することが不可欠だ。

民生部長 市町村毎の検査数と陽性率については検査を受けた方や患者のプライバシー

インフルエンザ予防接種助成
今年度の臨時的措置で終わらせないこと

砂田市議 インフルエンザ予防接種を無料にするなど、助成措置を一気に拡充されたことは高く評価できる。インフルエンザの流行を抑制するためにも、さらに今後新たな新型コロナウイルス感染症に備えるためにも、この助成措置を今年度限りの臨時的な対策にしてはならない。中田議員への答弁で「原則これまでの通りのことは引き続き実施する」というが、それが1回千円の補助だという。これまでは1回2千円の助成で、千円の助成はまだ一度もやったことがない。少なくともこれまで通り2千円助成は維持し、高校生までに拡充して頂きたい。市長に5百筆近い署名が提出された。署名に込められた市民の強い願いをぜひとも受け止めて頂きたい。

桜井市長 先般署名簿をお持ちになってぜひ2千円に戻していただけないかとの要望を伺った。いろいろ思いはあるが、行政需要が多種多様化しており、財源は限られているので、優先順位をつけて財源措置をしなければならぬ。コロナ感染の状況が続けばそれ相応に対応しなければならぬ。

公共交通の拡充を

石動駅での折り返し運転

砂田市議 石動駅での折り返し運転には信号系統の改善に多額の費用が必要であり、国の補助金が欠かせない。そのためには市として基本設計、実施設計が求められている。この具体化はどうか。

市営バスが走っていない地域への対策

砂田市議 企画政策部長 国土交通省の幹線鉄道等活性化事業を活用し、国、県、市が3分の1ずつ負担するもので、本市が事業主体となる。基本設計、概略設計及び詳細設計、設置工事、あいの風とやま鉄道に委託して実施することになる。第七次総合計画前期実施計画では基本設計を令和5年度に位置づけている。今年度総合計画のローリングを実施していく中で、市の財政計画と照らし合わせ、あいの風とやま鉄道や国、県と協議して実施時期を検討していく。

学童保育の3密対策
各地区に設置できないか

砂田市議 児童の放課後対策として、学童保育の3密を避ける対策、たとえば各地区に市が運営する学童保育を設置できないか。

民生部長 利用者が増えたら密集度が高くなることも予想される。現時点でその場合の国からの指針はまだ示されていないが、示されればそれにしたがって必要な対応を講じていきたい。地区毎に設置するには設置費用、管理運営方法および、下校時の安全対策など多くの課題があり、現状では実現は困難である。



民生部長 デマンド型乗り合いタクシーは、先進事例では乗車・降車の時間が不特定となり、事前予約が必要なため乗車人員が減るようだ。また民間タクシーと競合することから、より慎重な検討が必要と考えている。